

学校名	春日部市立大増中学校
所在地	春日部市上大増新田140番地
電話	048-737-5100

1 本校の概要

昭和59年開校。今年度（H27年度）開校32年目。学校規模は、通常学級9学級（各学年3）、特別支援学級（名称は個別支援学級）知的1学級、自閉情緒1学級、合計11学級で、生徒総数320名。学校教育目標「理性・情熱・友愛」。今年度のキャッチフレーズは「リスペクト大増」（尊敬される大増中になろう）。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・その他（教職員の読書の奨励や読書の質を高める取組によって、生徒の読書の質を高める取組）

(2) 実践の概要

本校では、「読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組」として、次の3点を重点化して実践している。「朝の読書」、「お話会」、「図書ボランティアによる学校図書館等の環境整備」を行っている。また、教職員の読書の質を高めることで生徒の読書の質を高められると考える。教職員へモジュール化した研修の機会とし、「校長室だより」を利用して「朝の読書」の理論的解説や教職員の読書に関する校長の考えを伝えている。

ア 朝の全校一斉読書

週4日（月～木）8：40～8：50

朝の読書の4原則「毎朝・みんなで・自分で選んだ本を・ただ読む」を基本に、生徒も教師も、職員室も一斉に読書をしている。この10分間は校内が物音のしない状況になっている。



（写真右：当番の生徒と先生が前で読む学級もある。）

イ お話会の実施

学期1回、春日部お話会のボランティアのみなさん

を講師に、お話を聴く会を朝の読書の時間帯に行っている。各学級1名の講師なので、個別支援学級は2クラス合同にして、10名の講師の先生にご来校いただいている。これを楽しみにしている生徒が多く、シーンとしたなかで、語られる物語に耳を傾けている。

ウ 図書ボランティアによる校内環境の整備



掲示板や学校図書館の飾りつけ等を行っている。写真は、左お話会の様子と、右は5月の玄関の鯉のぼり。掲示板には本の紹介を掲示している。

エ 「校長室だより」による研修のモジュール化

毎日、日報の裏面に掲載する「校長室だより」で、「朝の読書の4原則や理論」、「校長の読書」「最近読んだ本」等の本の話提供し、わずかな時間で読める教職員のためのモジュール化した研修の場としている。教職員の読書の時間を「朝の読書」の時間で確保しながら、先生の読む姿が生徒を感化し、さらに教職員の読書の質の向上が、授業での本に関する話題提供となり、それが生徒の読書の質の向上を図りつつあると実感している。場合によっては、校長の読んだ本を教職員に渡したり、貸したりすることもある。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ア 「朝の読書」で校内に静かな時間が確保。
- イ お話会により本や物語を通じた地域との連携。
- ウ 教職員の「読書」に関する意識の向上。

(2) 課題

- ア 本校は放課後の活動時間の確保を考え、金曜日は朝の活動をなくした日課にしているが、できれば金曜日も「朝の読書」を継続したい。
- イ まだまだ教職員の「読書」に対する意識の差がある。

(3) おわりに

本を通じた生徒と教師の人間関係づくりは、「教える・教わる」関係から、「コーディネートする・ファシリテートする」関係へと、新たな教育の方向性に合致していると考えます。